



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月13日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東  
 コード番号 4301 URL http://www.amuse.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 畠中 達郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 宮腰 俊男 TEL 03-5457-3302  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 2018年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	24,178	23.9	1,780	37.8	1,964	55.5	2,351	339.1
2018年3月期第2四半期	19,519	△18.2	1,291	△45.9	1,262	△42.8	535	△55.8

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 2,484百万円 (325.9%) 2018年3月期第2四半期 583百万円 (△44.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	136.10	—
2018年3月期第2四半期	31.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	40,215	28,853	67.5
2018年3月期	39,076	26,604	64.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 27,126百万円 2018年3月期 25,017百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2019年3月期	—	20.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2019年3月期の第2四半期末及び期末配当金(予想)の内訳 普通配当 12円50銭 記念配当 7円50銭

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,500	2.6	3,800	13.7	3,990	23.2	3,680	95.0	212.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	18,623,520株	2018年3月期	18,623,520株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,330,231株	2018年3月期	1,346,181株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	17,279,904株	2018年3月期2Q	17,261,969株

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式（2019年3月期2Q264,890株、2018年3月期281,180株）が含まれております。また、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2019年3月期2Q278,465株、2018年3月期2Q287,990株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 本資料の発表日現在において、2018年8月13日に公表いたしました連結業績予想は修正しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はT D n e t 及び当社ウェブサイト同日公開しております。

また、当社は、2018年11月14日（水）に機関投資家・アナリスト向け第2四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会にて配布する決算補足説明資料は、開催後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## 〔当第2四半期連結累計期間の経営成績〕

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	増減	増減率 (%)
営業収入	19,519	24,178	4,658	23.9
営業利益	1,291	1,780	488	37.8
経常利益	1,262	1,964	701	55.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	535	2,351	1,816	339.1

## 〔経営成績の分析〕

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策などにより、企業収益や雇用、所得環境の改善傾向が続くなど緩やかな回復基調が継続しております。しかしながら、通商問題など海外経済の不確実性や金融資本市場の変動、相次いでいる自然災害などの影響に留意すべき状況となっております。

当社グループの経営成績は営業収入241億7千8百万円（前年同四半期比23.9%増）、営業利益17億8千万円（前年同四半期比37.8%増）、経常利益19億6千4百万円（前年同四半期比55.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益23億5千1百万円（前年同四半期比339.1%増）となり、前年同四半期に比べ、大型コンサートツアー、関連グッズ収入の増加により増収となり、イベント制作費などの増加や高利益率事業の減収など減益要因はありましたが、販売費及び一般管理費の減少、持分法投資損益の改善に加え、固定資産売却益など特別利益の計上により大幅な増益となりました。

## ＜営業収入＞

- ・ イベント収入（大型コンサートツアー）が増加
- ・ 商品売上収入（グッズ・商品収入、音楽パッケージ）が増加

上記要因などにより増収となりました。

## ＜営業利益＞

- ・ イベント制作費などの増加や高利益率事業の減収など減益要因はありましたが、販売費及び一般管理費の減少により増益となりました。

## ＜経常利益＞

- ・ 持分法投資損益の改善により増益となりました。

## ＜親会社株主に帰属する四半期純利益＞

- ・ 固定資産売却益など特別利益の計上により大幅な増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	16,321	20,865	4,543	27.8
メディアビジュアル事業	689	669	△19	△2.8
コンテンツ事業	1,313	1,492	179	13.6
プレイスマネジメント事業	1,195	1,151	△44	△3.7
合計	19,519	24,178	4,658	23.9

(セグメント利益又は損失(△))

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネージメント事業	1,521	1,943	421	27.7
メディアビジュアル事業	△59	128	188	—
コンテンツ事業	437	587	150	34.5
プレイスマネージメント事業	14	△29	△44	—
調整額	△622	△850	△227	—
合計	1,291	1,780	488	37.8

**【アーティストマネージメント事業】**

営業収入208億6千5百万円(前年同四半期比27.8%増)、営業利益19億4千3百万円(前年同四半期比27.7%増)となり、増収増益となりました。

**【主な事業】**

- ・ イベント収入: <コンサート>  
福山雅治、ONE OK ROCK、SEKAI NO OWARIのコンサートツアー  
ボルノグラフィティ、Maydayのコンサート  
Amuse Fes in MAKUHARI 2018  
<舞台・公演>  
地球ゴージャス「ZEROTOPIA」、熱海五郎一座「船上のカナリアは陽気な不協和音」
- ・ 商品売上収入: コンサートグッズ、ONE OK ROCKライブDVD
- ・ FC収入: サザンオールスターズ、福山雅治、BABYMETAL、Perfume、SEKAI NO OWARIなど
- ・ 印税収入(新譜): 星野源(ライブDVD)、桑田佳祐(ライブDVD)、Perfume(シングルCD)
- ・ 出演収入・CM収入: 大泉洋、神木隆之介、福山雅治、Perfume、サザンオールスターズなど

**<営業収入>**

- ・ イベント収入(大型コンサート公演数、規模など)が増加  
(前年同四半期はONE OK ROCK、星野源のコンサートツアーなど)
- ・ 商品売上収入(コンサートグッズ、音楽パッケージ)が増加  
(前年同四半期よりイベント増加による関連グッズ増加、音楽パッケージ大型作品増加)  
上記要因などにより増収となりました。

**<セグメント利益>**

イベント制作費などの増加、高利益率事業の減収など減益要因はありましたが、販売費及び一般管理費の減少により増益となりました。

**[メディアビジュアル事業]**

営業収入6億6千9百万円(前年同四半期比2.8%減)、セグメント利益1億2千8百万円(前年同四半期は5千9百万円のセグメント損失)となりました。

**[主な事業]**

- ・ 映像作品販売収入：TEAM NACS舞台「PARAMUSHIR」、  
大泉洋主演映画「探偵はBARにいる3」、などのDVD販売収入
- ・ 映像製作収入：佐藤健主演映画「8年越しの花嫁」劇場配給分配収入
- ・ 番組制作収入：映画「ギャングース」制作受託など

**<営業収入>**

- ・ 番組制作収入の減少  
(前期は星野源主演ドラマ「ブラージュ」の番組制作収入)  
上記要因などにより減収となりました。

**<セグメント利益>**

音楽パッケージ販売手数料(主にONE OK ROCK関連)が好調であり増益となりました。

**[コンテンツ事業]**

営業収入14億9千2百万円(前年同四半期比13.6%増)、セグメント利益5億8千7百万円(前年同四半期比34.5%増)となり、増収増益となりました。

**[主な事業]**

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfume、ONE OK ROCK、BABYMETALなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

**<営業収入>**

原盤印税の増加などにより増収となりました。

**<セグメント利益>**

増収要因により増益となりました。

**[プレイスマネージメント事業]**

営業収入11億5千1百万円(前年同四半期比3.7%減)、セグメント損失2千9百万円(前年同四半期は1千4百万円のセグメント利益)となりました。

**[主な事業]**

- ・ 東京ワンピースタワー、アミューズミュージアムの入場料収入、グッズ販売収入
- ・ ベルギービール等の飲食店収入

**<営業収入>**

東京ワンピースタワーのフォト・グリーティングなどのパーク内イベント収入が低調であったことなどにより、減収となりました。

**<セグメント利益>**

減収要因により減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)	増減
総資産 (百万円)	39,076	40,215	1,138
純資産 (百万円)	26,604	28,853	2,249
自己資本比率 (%)	64.0	67.5	3.5
1株当たり純資産 (円)	1,448.00	1,568.61	120.61

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,012	1,293	3,305
投資活動によるキャッシュ・フロー	40	1,832	1,791
財務活動によるキャッシュ・フロー	△309	△202	106

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は402億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億3千8百万円増加いたしました。主な増加要因は、流動資産「現金及び預金」の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は113億6千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億1千万円減少いたしました。主な減少要因は、流動負債「営業未払金」の減少によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は288億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億4千9百万円増加いたしました。主な増加要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は67.5%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ29億4千8百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には222億9千4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は12億9千3百万円（前年同四半期は20億1千2百万円の使用）となりました。

これは、主に営業債務の減少に伴う資金減少要因を、税金等調整前四半期純利益及び営業債権の減少による資金増加要因が上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は18億3千2百万円（前年同四半期は4千万円の獲得）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による資金減少要因を、有形固定資産の売却による資金増加要因が上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億2百万円（前年同四半期は3億9百万円の使用）となりました。

これは、主に配当金の支払による資金減少要因によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期の業績は概ね予定通り推移しており、2018年8月13日の「2019年3月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	19,889,186	22,810,894
受取手形及び営業未収入金	6,378,832	4,927,393
商品及び製品	2,005,220	1,739,666
仕掛品	1,855,400	1,787,269
原材料及び貯蔵品	109,241	129,262
その他	2,358,646	2,196,709
貸倒引当金	△1,024,164	△302,722
流動資産合計	31,572,363	33,288,473
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	928,695	931,037
土地	1,527,068	855,706
その他(純額)	190,532	403,488
有形固定資産合計	2,646,296	2,190,232
<b>無形固定資産</b>		
のれん	245,013	204,177
その他	222,877	223,884
無形固定資産合計	467,891	428,062
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,415,067	2,662,096
その他	2,175,325	1,847,206
貸倒引当金	△200,691	△200,821
投資その他の資産合計	4,389,701	4,308,481
固定資産合計	7,503,888	6,926,775
資産合計	39,076,252	40,215,249

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	8,210,362	7,039,285
未払法人税等	959,753	992,818
役員賞与引当金	23,571	—
従業員株式給付引当金	12,050	20,162
返品調整引当金	1,640	4,600
ポイント引当金	18,930	17,764
その他	2,115,628	2,123,001
流動負債合計	11,341,936	10,197,632
固定負債		
役員株式給付引当金	36,859	61,432
退職給付に係る負債	1,022,041	1,034,830
その他	71,086	67,819
固定負債合計	1,129,988	1,164,082
負債合計	12,471,924	11,361,715
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	2,096,355	2,072,118
利益剰余金	22,628,045	24,760,389
自己株式	△1,288,601	△1,257,602
株主資本合計	25,023,624	27,162,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,928	44,634
為替換算調整勘定	△48,016	△80,979
その他の包括利益累計額合計	△6,087	△36,344
非支配株主持分	1,586,790	1,727,148
純資産合計	26,604,327	28,853,534
負債純資産合計	39,076,252	40,215,249

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業収入	19,519,348	24,178,104
営業原価	14,827,352	19,479,561
営業総利益	4,691,995	4,698,543
返品調整引当金繰入額	—	1,700
返品調整引当金戻入額	3,100	—
差引営業総利益	4,695,095	4,696,843
販売費及び一般管理費	※ 3,403,323	※ 2,916,558
営業利益	1,291,772	1,780,284
営業外収益		
受取利息	1,534	735
受取配当金	11,071	25,084
持分法による投資利益	—	86,477
為替差益	29,849	51,191
受取手数料	6,135	4,909
事業組合投資利益	38,907	2,276
その他	30,668	17,110
営業外収益合計	118,167	187,785
営業外費用		
固定資産整理損	0	1,941
持分法による投資損失	143,621	—
その他	3,410	1,875
営業外費用合計	147,032	3,816
経常利益	1,262,907	1,964,253
特別利益		
固定資産売却益	—	1,729,266
投資有価証券売却益	—	5,310
特別利益合計	—	1,734,576
税金等調整前四半期純利益	1,262,907	3,698,829
法人税、住民税及び事業税	602,022	932,582
法人税等調整額	33,710	251,868
法人税等合計	635,732	1,184,451
四半期純利益	627,174	2,514,378
非支配株主に帰属する四半期純利益	91,628	162,552
親会社株主に帰属する四半期純利益	535,546	2,351,825

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	627,174	2,514,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,356	2,519
為替換算調整勘定	△39,700	△32,694
持分法適用会社に対する持分相当額	197	186
その他の包括利益合計	△43,858	△29,988
四半期包括利益	583,315	2,484,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	490,487	2,321,569
非支配株主に係る四半期包括利益	92,827	162,821

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,262,907	3,698,829
減価償却費	135,696	161,666
のれん償却額	66,562	40,835
貸倒引当金の増減額(△は減少)	558,639	△721,311
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	36,859	24,573
従業員株式給付引当金の増減額(△は減少)	25,459	8,112
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△3,100	2,960
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,895	△1,166
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7,305	12,761
受取利息及び受取配当金	△12,605	△25,820
持分法による投資損益(△は益)	143,621	△86,477
事業組合投資損益(△は益)	△38,907	△2,276
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△1,729,266
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△5,310
営業債権の増減額(△は増加)	921,810	1,451,439
たな卸資産の増減額(△は増加)	△349,626	313,663
営業債務の増減額(△は減少)	△2,841,556	△1,242,635
未払消費税等の増減額(△は減少)	△155,607	232,754
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△321,349	△140,316
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△44,794	△11,793
その他	18,021	△39,666
小計	△602,381	1,941,556
利息及び配当金の受取額	12,675	25,899
法人税等の支払額	△1,448,419	△838,600
法人税等の還付額	25,443	164,317
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,012,682	1,293,172
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△500,013	△500,000
定期預金の払戻による収入	1,522,779	527,040
有形固定資産の取得による支出	△78,185	△581,939
有形固定資産の売却による収入	—	2,531,400
無形固定資産の取得による支出	△13,113	△41,257
関係会社株式の取得による支出	△916,000	—
投資有価証券の取得による支出	△1,700	△200,000
投資有価証券の売却による収入	—	43,010
貸付けによる支出	△13,290	△14,379
貸付金の回収による収入	8,420	7,182
その他	31,594	61,268
投資活動によるキャッシュ・フロー	40,491	1,832,325
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△2,308	△1,076
自己株式の売却による収入	27,435	49,929
非支配株主からの払込みによる収入	3,400	—
配当金の支払額	△219,698	△220,029
非支配株主への配当金の支払額	△106,964	△22,464
その他	△11,475	△9,237
財務活動によるキャッシュ・フロー	△309,612	△202,877
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,131	25,402
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,301,934	2,948,024
現金及び現金同等物の期首残高	20,535,453	19,346,939
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 18,233,519	※ 22,294,963

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	16,321,715	689,191	1,313,088	1,195,352	19,519,348	—	19,519,348
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	45,091	55,683	158,451	29,808	289,035	△289,035	—
計	16,366,806	744,875	1,471,540	1,225,161	19,808,383	△289,035	19,519,348
セグメント利益 又は損失(△)	1,521,627	△59,750	437,017	14,976	1,913,871	△622,099	1,291,772

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△622,099千円には、セグメント間取引消去5,660千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△627,759千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	20,865,219	669,613	1,492,162	1,151,109	24,178,104	—	24,178,104
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	30,682	125,843	186,981	29,580	373,087	△373,087	—
計	20,895,901	795,456	1,679,144	1,180,689	24,551,191	△373,087	24,178,104
セグメント利益 又は損失(△)	1,943,528	128,550	587,970	△29,724	2,630,324	△850,040	1,780,284

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△850,040千円には、セグメント間取引消去57,166千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△907,206千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。